

夜の昆虫観察に親子連れ55人

子どもたちの夏休みに合わせた「里山さんぽ・夜の昆虫観察」が8月1日夜、広町緑地・御所谷の田んぼ横で催され、親子連れ55人が参加しました。



竹で櫓（やぐら）を組み立て、シーツのような白い布を張り、布に蛍光灯を当てて、走光性がある昆虫を誘い集める——という異色の企画です。電源には、近隣の自治会から防災用の発電機を借りました。

参加者のうち約30人が、湘南モノレール西鎌倉駅に集まり、スタッフが会場に案内しました。遠方から

の参加が、近隣を上まわったのは、このイベントへの関心の広がりを感じました。

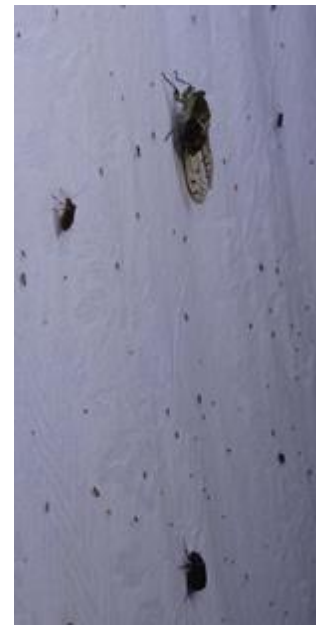
残念！カブトムシ、クワガタは現われず

白い布に多く集まったのは、カナブン、カメムシなどでした。子どもたちは争って、触れようとします。指導役の栗原義昭さんが「カメムシに触ると臭いよ」と注意しました。ミンミンゼミのオスとアブラゼミのメスが飛来して、人気を集めました。

ただし、子どもたちお目当てのカブトムシやクワガタは、姿を見せませんでした。

会場から100メートルほど離れた枝谷戸に茂るクヌギに、コクワガタ数匹が夕方までは、甘酸っぱく香る樹液を吸いに来ていました。しかし、夜に参加者を会場から案内したときは、残念ながら、飛び去って1匹もいませんでした。

このクヌギも数年前、植樹したのですが、今後、クヌギをもっと増やし、子どもたちにさらに親しまれる森にしていきたい、と思います。



中央上にミンミンゼミ、その左がカメムシ、下方にカナブン

19日（日）にチョウの観察会

やはり夏休みに合わせた企画で、「夏のチョウ観察」が19日（日）午前9時から催されます。チョウが最も多く舞う季節。あでやかな姿をいくつも見る事ができるでしょう。

認定 NPO 法人・鎌倉広町の森市民の会

（お問い合わせ：向田090-9963-2353）